

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

■施工順序

1 リンダー、電動サムターン(上下2個)の取付け

【シリンダーカバーの開閉方法】

※玄関ドア「アヴァントス」の場合

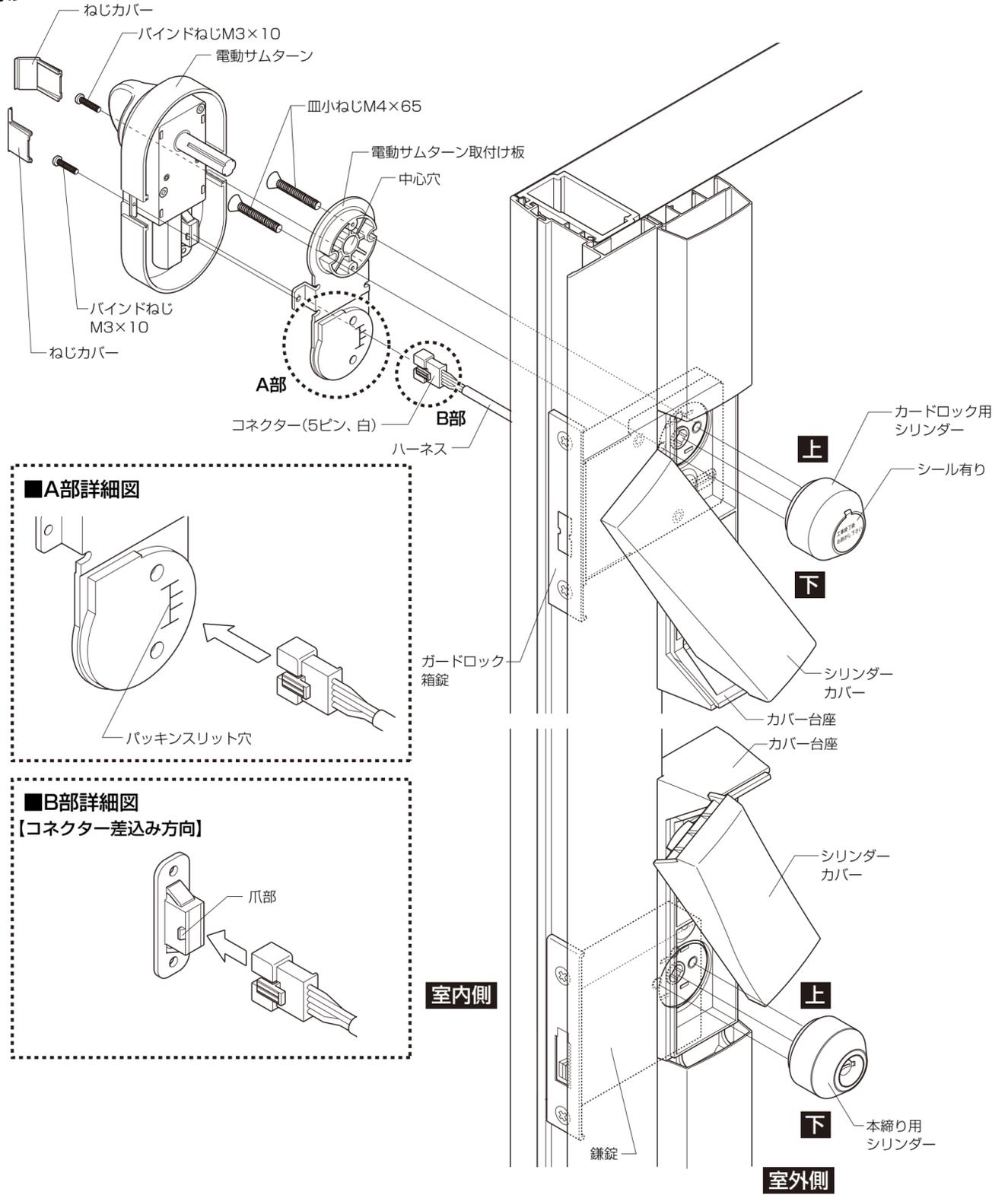
●シリンダーカバーを手前に引っ張って反時計方向に回転させると、シリンダー取付け穴があります。シリンダーを取付けた後は時計方向に回転させて閉じてください。

【ガードロック用シリンダーの取付け】

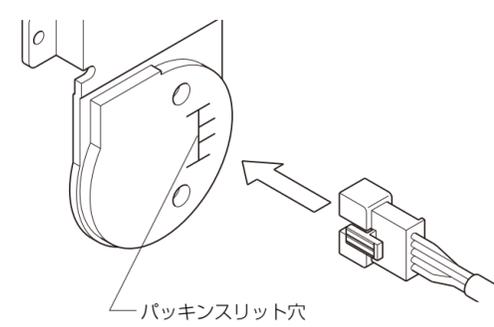
- ①ガードロック用シリンダー(シール有り)の上側のシールを上に向けます。
- ②ガードロック用シリンダーの出っ張り(4カ所)を、ガードロック錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
- ③電動サムターン取付け板の中心の穴を上錠ケースの中心に合わせ、皿小ねじでガードロック用シリンダーに取付けます。このときドアから引き出した「室内側」とタグの付いたハーネスをあらかじめ取付け板のパッキンスリット穴に通しておきます。
- ④電動サムターンにハーネスのコネクター 1本をしっかりと差込み、サムターンツマミを縦に向け電動サムターン取付け板にはめ込み、バインド小ねじ(2カ所)で取付けます。
- ⑤バインドねじの上にねじカバー(2個)を取付けます。

【本締め用シリンダーの取付け】

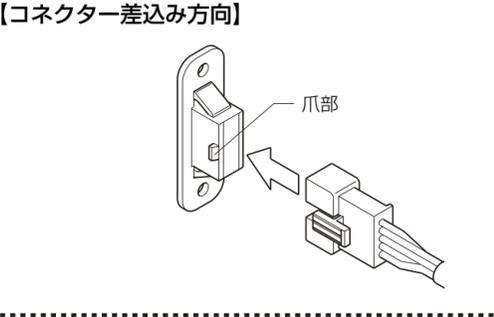
- ①本締め用シリンダーを上に向けます。
- ②本締め用シリンダーの出っ張り(4カ所)を、本締め用錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
- ③セキュリティ電動サムターン取付け板の中心の穴を下錠ケースの中心に合わせ、皿小ねじで本締め用シリンダーに取付けます。このときドアから引き出したハーネスを、セキュリティ電動サムターン取付け板のパッキンスリット穴に通しておきます。
- ④セキュリティ電動サムターンにハーネスのコネクターを差込み、サムターンツマミを縦に向け、セキュリティ電動サムターン取付け板にはめ込み、バインドねじで取付けます。
- ⑤バインドねじの上にねじカバー(2個)を取付けます。



■A部詳細図



■B部詳細図



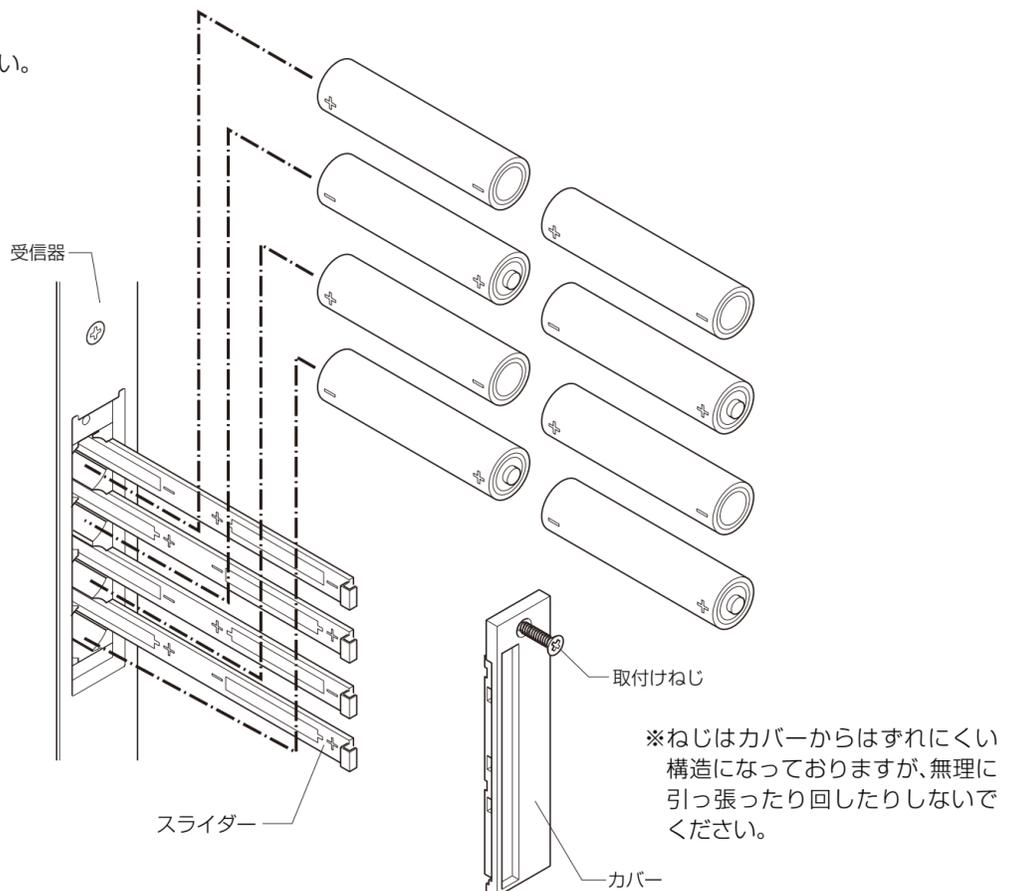
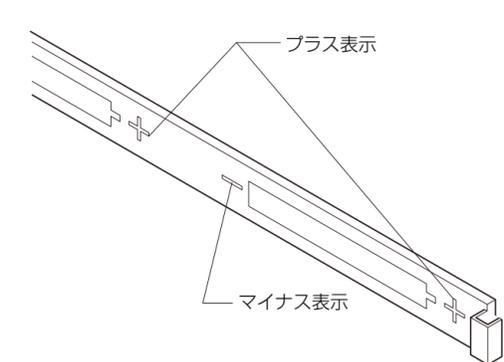
2 受信器の電池の入れ方

- ①受信器中央のねじを緩め、カバーを取外してスライダを引出してください。
- ②スライダの表示にしたがい、+を合わせて、電池をスライダとともに挿入してください。
- ③カバーの下部を引っ掛け、ねじ止めしてください。

お願い

※スライダを引き出さずに電池を押し込んだり、スライダを強く奥まで押し込むと、接触不良の原因となることがありますのでご注意ください。
 ※電池の新旧混使用は液漏れの原因となりますのでおやめください。

■スライダ表示部詳細



■カードキーを使つての操作方法

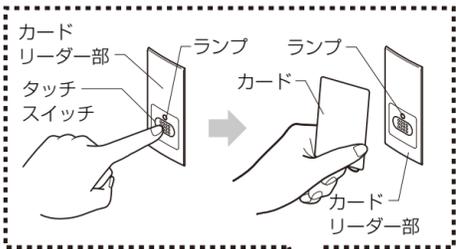
- 付属のカードキー 5枚は登録済です。
- 追加のカードキーを購入していただいた場合は登録が必要です。登録がお済みでない場合は、必ず登録操作を行ってください。追加のカードキーの登録方法は、取扱い説明書のP.9を参照してください。

■帰宅時の解錠・施錠

- 解錠
- カードリーダーのタッチスイッチを押してランプの点滅中(約5秒間)にカードを近づけると約1秒後に解錠します。
- ※ランプの表示については、取扱い説明書を参照してください。

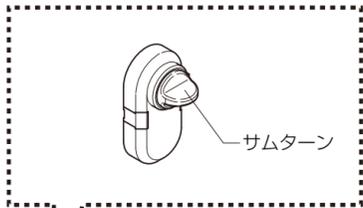
アドバイス

※カードキーの作動範囲は、カードリーダー平行面で約3cmです。



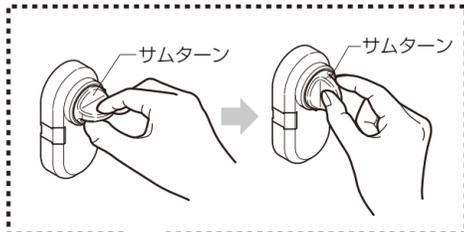
●施錠

- 室内に入り扉を閉めると1秒後に自動施錠します。
- ※ドアの開閉操作をしない場合は、30秒後に自動施錠します。



■外出時の解錠・施錠

- 解錠
- サムターンを手動で解錠します。

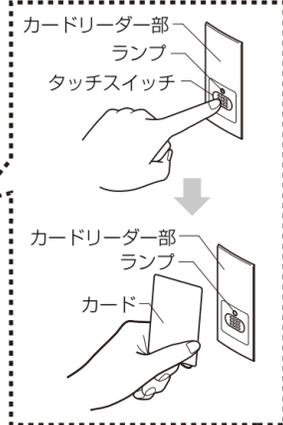


●施錠

- 室外に出て扉を閉めた後、カードリーダー部のタッチスイッチを押します。ランプの点滅中(約5秒間)にカードを近づけると約1秒後に施錠します。
- ※ランプの表示については、取扱い説明書を参照してください。

お願い

※室内側のサムターンで解錠した場合は自動施錠しません。外出時はカードでの施錠操作を必ず行ってください。



■その他の施錠・解錠操作

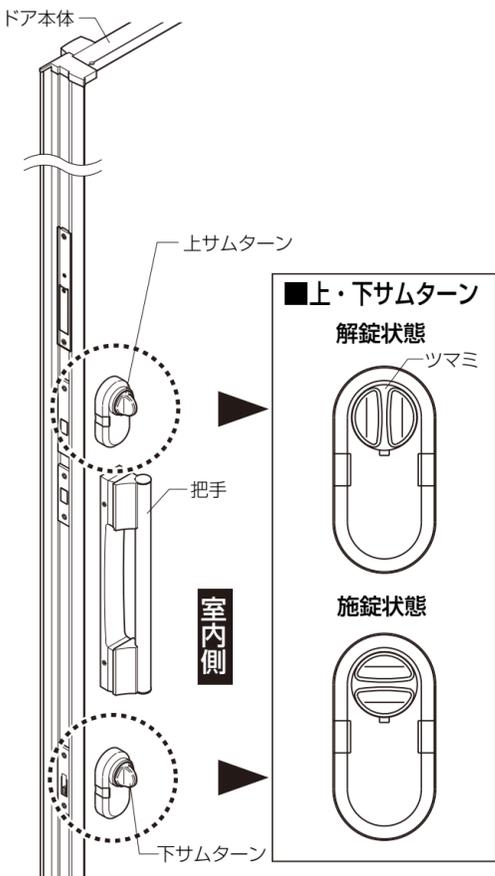
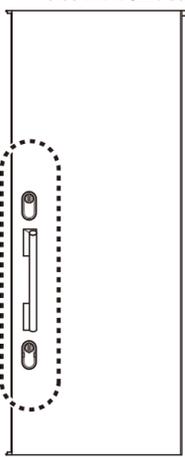
●室内側からのサムターンによる施錠・解錠

- 施錠・解錠を室内側から手動で行う場合は、サムターンつまみを右図のように操作してください。

アドバイス

※扉を自動施錠したくない場合は、サムターンにより解錠してください。サムターンにより解錠した場合は、自動施錠は行いません。

■ドア本体姿図(室内側)



■室外側からのカギ(●)による施錠・解錠

- 室外側から上・下シリンダーにカギ(●)を差込んで施錠・開錠を行います。

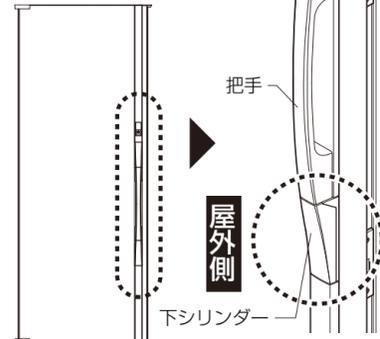
お願い

※ドアを連続して解錠状態にしたい場合は、カギ(●)により解錠してください。カギ(●)により解錠した場合は、自動施錠は行いません。

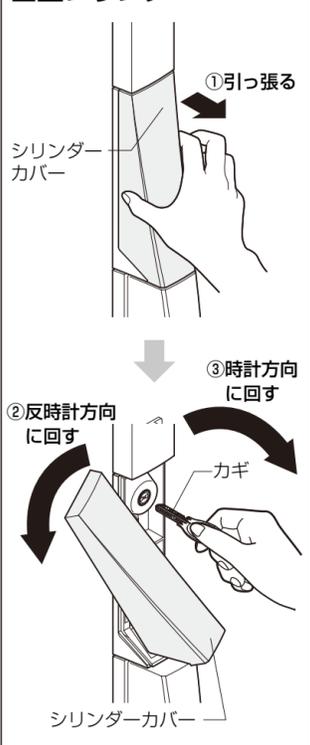
※玄関ドア「アヴァントス」の場合

- シリンダーカバーを手前方向①に引っ張って反時計方向に回転②させ、シリンダーカバーを開けてカギ(●)を差込んで施錠・解錠を行います。シリンダーカバーは時計方向③に回転させると元の位置に戻すことができます。

■ドア本体姿図(室外側)



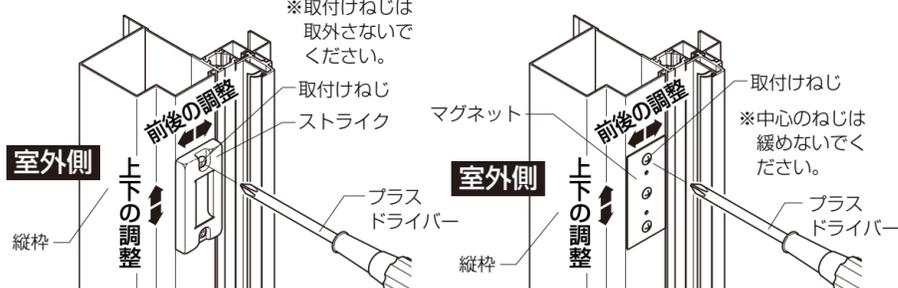
■上シリンダー



■施工後の確認

	原因	対策
1.サムターンつまみおよびカギの操作により扉を施錠／解錠を行うことができる。	NO → 扉の錠受け(ストライク、ガードロック)の取付けが正しくありません。	ストライク、ガードロックの位置を調整してください。(下図参照)
2.CAZASシステムを使って扉を施錠／解錠を行うことができる。	NO → 扉が開いています。	扉を閉めてください。
	NO → 扉の建付けが正しくありません。	<玄関ドア> ●扉とマグネットのチリを9mm以下に調整してください。(調整方法は枠の取付け説明書参照)

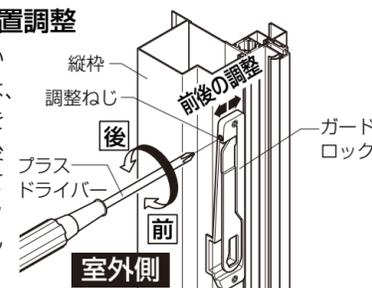
■ストライク位置調整



※玄関ドア「アヴァントス」の場合

■ガードロック位置調整

- ガードロックがかからない場合は、側面の調整ねじを回して位置を前後に調整してください。上下はピボットヒンジで調整してください。



- 又、マグネットの上下前後調整を行い、開扉ランプが消える位置に調整してください。(左図参照)